

# 災害に関する基礎講座④

## 雪のシーズン、こんな時は雪崩に注意！



国土面積の半分以上が「豪雪地帯」に指定されている日本では、毎年のように雪崩による災害が発生しています。毎年1月～3月に発生が多く、集落や山間の道路のほか、スキー場や観光地といったさまざまな場所で雪崩災害は起こっています。雪崩の速さは、最大で新幹線並みの時速200Kmもの速さと言われています。

雪崩の前兆現象を見つけたときは、速やかにその場から離れ、身の安全を確保しましょう。



主な雪崩の前兆現象は、以下のとおりです

主な前兆現象	特徴	主な前兆現象	特徴
せっぴ 雪庇	<ul style="list-style-type: none"> <li>山の尾根からの雪のはり出し</li> <li>はり出した部分が雪のかたまりとなって斜面に落ちる</li> </ul>	スノー ボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面をコロコロ落ちてくるボールのような、雪かたまり</li> <li>雪庇(せっぴ)や巻きだれの一部が落ちてきたもので多く見られるときは特に要注意</li> </ul>
巻きだれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪崩予防柵からの雪のはり出し</li> <li>はり出した部分が雪のかたまりとなって斜面に落ちる</li> </ul>	クラック	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面にひっかき傷がついたような、雪の裂け目</li> <li>積もっていた雪がゆるみ、少しずつ動き出そうとしている状態</li> </ul>
斜面が平らになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面に元の地形がわからないほど平らに雪が積もる</li> <li>表層雪崩が起きる危険、家の裏山などは特に要注意</li> </ul>	雪しわ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふやけた指先のようなシワ状の雪の模様</li> <li>積もっていた雪がゆるみ、少しずつ動き出そうとしている状態</li> </ul>

※政府広報オンラインより抜粋